

総務文教常任委員会

H 2 5 . 7 . 2 9 (月)

午前 1 0 時 0 0 分 ~

第 3 委員会室

1 開 議

2 事件

○ 行政報告

- ・ 学校給食センターにおける放射能測定検査状況（資料）

3 その他

○ 視察報告について

平成25年7月29日開催

総務文教常任委員会

— 提出資料 —

(案件)

(1) 学校給食の放射性物質測定検査について

亀岡市教育委員会

学校給食の放射性物質測定検査について

食品の放射性物質汚染に対する安全性の確保については、国及び都道府県において、東北関東17都県産食品の出荷段階での検査が行われており、市中に出回っているものの安全性が確認されているところです。

京都府においては、府内に流通する食品の放射性物質の検査が行われており、府内産農林水産物についても放射性物質モニタリング検査が行われています。

亀岡市立学校給食センターで行う食品の放射性物質測定検査は、これらを踏まえ、消費者としての立場で消費の段階で、学校給食センターで使用している食材についての検査を行っています。

平成25年4月から7月の1学期間に検査した食材とその結果は、別紙資料1のとおりです。いずれも放射性物質は、検出されておられません。

今後も、学校給食センターでの食材検査、産地公表を継続実施することにより、保護者の安心を得るよう努めてまいります。

検査実施状況(平成25年度)

検査実施日		検査食材	産地等	検査結果	検査機関等
4月	10日	給食	別紙のとおり	検出せず	学校給食センター
"	17日	にんじん	徳島県	"	"
"	24日	給食	別紙のとおり	"	"
5月	1日	福神漬け	茨城県、埼玉県ほか	"	"
"	8日	給食	別紙のとおり	"	"
"	15日	チンゲン菜	長野県	"	"
"	22日	給食	別紙のとおり	"	"
"	29日	つきこんにゃく	群馬県	"	"
6月	5日	給食	別紙のとおり	"	"
"	12日	もやし	岐阜県	"	"
"	19日	給食	別紙のとおり	"	"
"	26日	だし昆布	北海道	"	"
7月	3日	給食	別紙のとおり	"	"
"	10日	とうふ	福井県、北海道	"	"
"	17日	給食	別紙のとおり	"	"
合計 15回					

食材と検査結果の詳細(平成25年7月実施分)

7月17日(水)の検査結果

A献立

測定日	給食日	主な使用食材 [()内は、産地または製造元]	測定結果 (測定下限値:9.1ベクレル)	
			セシウム134	セシウム137
7月17日	7月17日	豚肉(鹿児島県) 土しょうが(高知県) にんにく(亀岡市) もやし(岐阜県) 玉葱(亀岡市) キャベツ(滋賀県) にんじん(長崎県) にら(高知県) 干し椎茸(愛媛県・岡山県・島根県・三重県) 青ねぎ(京都府) いりごま(中南米・アジア・アフリカ) ちりめんじゃこ(宮崎県・鹿児島県他) チンゲン菜(茨城県) 米(亀岡市) 牛乳(雪印メグミルク)	検出せず	検出せず

B献立

測定日	給食日	主な使用食材 [()内は、産地または製造元]	測定結果 (測定下限値:9.1ベクレル)	
			セシウム134	セシウム137
7月17日	7月17日	カットかぼちゃ(長崎県) 鶏肉ミンチ(宮崎県) 青ねぎ(京都府) 土しょうが(高知県) 片栗粉(北海道) 玉葱(亀岡市) にんじん(長崎県) 焼きかまぼこ(たら:北海道・アメリカ イトヨリダイ:タイ) 鰹節(鹿児島県・熊本県) だし昆布(北海道) ごま昆布(昆布:北海道 ごま:中南米・アフリカ) 米(亀岡市) 牛乳(雪印メグミルク)	検出せず	検出せず

7月10日(水)の検査結果

A献立・B献立 共通

測定日	給食日	使用食材 [()内は、産地または製造元]	測定結果 (測定下限値:9.1ベクレル)	
			セシウム134	セシウム137
7月10日	7月10日	ソフト豆腐(大豆:福井県・北海道)	検出せず	検出せず

7月3日(水)の検査結果

A献立

測定日	給食日	主な使用食材 [()内は、産地または製造元]	測定結果 (測定下限値:9.1ベクレル)	
			セシウム134	セシウム137
7月3日	7月3日	アジフィレ(タイ・韓国) 片栗粉(北海道) 玉葱(亀岡市) 赤ピーマン(高知県) 青ピーマン(大分県) 鶏肉(宮崎県) 薩摩揚げ(たら:北海道・アメリカ イトヨリダイ:タイ) にんじん(和歌山県) つきこんにやく(こんにやく粉:群馬県) ささがきごぼう(宮崎県) キャベツ(滋賀県) ソフト豆腐(大豆:福井県・北海道) みそ(米:新潟県 大豆:北海道) 煮干し(京都府) 米(亀岡市) 牛乳(雪印メグミルク)	検出せず	検出せず

B献立

測定日	給食日	主な使用食材 [()内は、産地または製造元]	測定結果 (測定下限値:9.1ベクレル)	
			セシウム134	セシウム137
7月3日	7月3日	うめちり(しらす:瀬戸内・鹿児島県 梅:中国) 大豆水煮(富山県・石川県・福井県等) 鶏肉(宮崎県) 焼きちくわ(たら:日本・アメリカ) 角切りこんにやく(こんにやく粉:群馬県) 乱切りゴボウ(宮崎県) にんじん(和歌山県) えだまめ(北海道) 薩摩揚げ(たら:北海道・アメリカ イトヨリダイ:タイ) 玉葱(亀岡市) ソフト豆腐(大豆:福井県・北海道) 青ねぎ(京都府) 片栗粉(北海道) 鰹節(鹿児島県・熊本県) だし昆布(北海道) 米(亀岡市) 牛乳(雪印メグミルク)	検出せず	検出せず

食材と検査結果の詳細(平成25年6月以前の実施分)

6月26日(水)の検査結果

B献立

測定日	給食日	使用食材 [()内は、産地または製造元]	測定結果 (測定下限値:9.1ベクレル)	
			セシウム134	セシウム137
6月26日	6月26日	だし昆布(北海道)	検出せず	検出せず

6月19日(水)の検査結果

A献立

測定日	給食日	主な使用食材 [()内は、産地または製造元]	測定結果 (測定下限値:9.1ベクレル)	
			セシウム134	セシウム137
6月19日	6月19日	にんじん(京都府) 油揚げ(大豆:滋賀県) ちりめんじゃこ(宮崎県・鹿児島県他) だし昆布(北海道) 冷五目卵焼き(鶏卵:九州 鶏肉:宮崎県 たけのこ:熊本県 人参:福岡県・長崎県 ねぎ:福岡県) 鶏むね肉(鹿児島県) 里いも(宮崎県) 焼き豆腐(大豆:滋賀県) ささがきごぼう(宮崎県) 青ねぎ(京都府) 鰹節(鹿児島県・熊本県) だし昆布(北海道) 小魚スナック(カタクチイワシ:愛媛県・香川県) 米(亀岡市) 牛乳(雪印メグミルク)	検出せず	検出せず

B献立

測定日	給食日	主な使用食材 [()内は、産地または製造元]	測定結果 (測定下限値:9.1ベクレル)	
			セシウム134	セシウム137
6月19日	6月19日	鶏もも肉(高知県) 土しょうが(高知県) 豚肉(鹿児島県) 切干大根(宮崎県) にんじん(京都府) 油揚げ(大豆:滋賀県) 玉葱(亀岡市) じゃがいも(熊本県) カットワカメ(日本) 青ねぎ(京都府) みそ(大豆:北海道 米:新潟県) 煮干し(京都府) 米(亀岡市) 牛乳(雪印メグミルク)	検出せず	検出せず

6月12日(水)の検査結果

B献立

測定日	給食日	使用食材 [()内は、産地または製造元]	測定結果	
			(測定下限値:9.1ベクレル)	
			セシウム134	セシウム137
6月12日	6月12日	もやし(岐阜県)	検出せず	検出せず

6月5日(水)の検査結果

A献立

測定日	給食日	主な使用食材 [()内は、産地または製造元]	測定結果 (測定下限値:9.1ベクレル)	
			セシウム134	セシウム137
6月5日	6月5日	鶏肉(宮崎県) だいこん(愛知県) 青ねぎ(京都府) レモン汁(広島県) 大豆水煮(富山県・石川県・福井県等) ひじき(日本) 油揚げ(大豆:滋賀県) にんじん(徳島県) つきこんにゃく(こんにゃく粉:群馬県) ソフト豆腐(大豆:福井県・北海道) なめこ水煮(長野県) えのきたけ(長野県) みつば(滋賀県) 八丁みそ(豆みそ:三重県) みそ(大豆:北海道 米:新潟県) 煮干し(京都府) 米(亀岡市) 牛乳(雪印メグミルク)	検出せず	検出せず

B献立

測定日	給食日	主な使用食材 [()内は、産地または製造元]	測定結果 (測定下限値:9.1ベクレル)	
			セシウム134	セシウム137
6月5日	6月5日	豚肉(愛媛県) にんじん(徳島県) 玉葱(兵庫県) じゃがいも(長崎県) 冷グリーンピース(アメリカ) トマトケチャップ(トマト:アメリカ・中国・ポルトガル・チリ) 粉ガーリック(ガーリック:中国) ポークウインナー(豚肉:茨城県・群馬県他) キャベツ(愛知県) 冷ホールコーン(北海道) 青ピーマン(大分県) 赤ピーマン(高知県) 米(亀岡市) 牛乳(雪印メグミルク)	検出せず	検出せず

5月29日(水)の検査結果

B献立

測定日	給食日	使用食材 [()内は、産地または製造元]	測定結果 (測定下限値:9.1ベクレル)	
			セシウム134	セシウム137
5月29日	5月29日	つきこんにゃく (こんにゃく粉:群馬県)	検出せず	検出せず

5月22日(水)の検査結果

A献立

測定日	給食日	主な使用食材 [()内は、産地または製造元]	測定結果 (測定下限値:9.1ベクレル)	
			セシウム134	セシウム137
5月22日	5月22日	鶏肉(鹿児島県) 山菜水煮(わらび・なめこ・えのき:新潟県 ふき:岩手県) 筍水煮缶(京都府・大阪府) にんじん(長崎県) つきこんにゃく(こんにゃく粉:群馬県) 干しいたけ(熊本県・三重県) 焼きちくわ(たら:日本・アメリカ) 米粉(こしひかり:亀岡市) あおのり(愛知県三河湾) 玉葱(兵庫県) ソフト豆腐(大豆:福井県・北海道) 凍結全卵(日本) 青ねぎ(京都府) 鰹節(鹿児島県・熊本県) だし昆布(北海道) 米(亀岡市) 牛乳(雪印メグミルク)	検出せず	検出せず

B献立

測定日	給食日	主な使用食材 [()内は、産地または製造元]	測定結果 (測定下限値:9.1ベクレル)	
			セシウム134	セシウム137
5月22日	5月22日	牛肉(北海道) ささがきごぼう(北海道・宮崎県) 土しょうが(高知県) 梅干し(青梅:奈良県・和歌山県・三重県 紫蘇:和歌山県) 手巻きのり(日本 有明) 鶏肉(鹿児島県) 里いも(宮崎県) 焼き豆腐(大豆:滋賀県) にんじん(長崎県) 青ねぎ(京都府) 鰹節(鹿児島県・熊本県) だし昆布(北海道) 米(亀岡市) 牛乳(雪印メグミルク)	検出せず	検出せず

5月15日(水)の検査結果

B献立

測定日	給食日	使用食材 [()内は、産地または製造元]	測定結果 (測定下限値:9.1ベクレル)	
			セシウム134	セシウム137
5月15日	5月15日	チンゲン菜(長野県)	検出せず	検出せず

5月8日(水)の検査結果

A献立

測定日	給食日	主な使用食材 [()内は、産地または製造元]	測定結果 (測定下限値:9.1ベクレル)	
			セシウム134	セシウム137
5月8日	5月8日	豚肉(鹿児島県) にんじん(徳島県) 玉葱(兵庫県) じゃがいも(長崎県) 冷グリーンピース(アメリカ) スキムミルク(ニュージーランド) 粉チーズ(ナチュラルチーズ:オーストラリア 脱脂粉乳:日本) トマトケチャップ缶(アメリカ) 粉ガーリック(中国) 福神漬(大根:茨城県 なす:埼玉県 蓮根:茨城県 生姜:九州) みかん缶(和歌山県・徳島県・大阪府) 甘夏缶(鹿児島県・熊本県・長崎県) 黄桃缶(山形県) 野菜ファイバーゼリー(りんご・人参:日本 オレンジ:ブラジル かぼちゃ:日本・ニュージーランド) 米(亀岡市) 牛乳(雪印メグミルク)	検出せず	検出せず

B献立

測定日	給食日	主な使用食材 [()内は、産地または製造元]	測定結果 (測定下限値:9.1ベクレル)	
			セシウム134	セシウム137
5月8日	5月8日	牛肉(北海道) 玉葱(兵庫県) 糸こんにゃく(こんにゃく粉:群馬県) にんじん(徳島県) 焼きかまぼこ(たら:北海道・アメリカ イトヨリダイ:タイ) しめじ(福岡県) えのきたけ(長野県) 青ねぎ(京都府) もやし(岐阜県) キャベツ(愛知県) 焼きちくわ(たら:日本・アメリカ) 米(亀岡市) 牛乳(雪印メグミルク)	検出せず	検出せず

5月1日(水)の検査結果

B献立

測定日	給食日	使用食材 [()内は、産地または製造元]	測定結果 (測定下限値:9.1ベクレル)	
			セシウム134	セシウム137
5月1日	5月1日	福神漬(大根:茨城県 なす:埼玉県 蓮根:茨城県 生姜:九州)	検出せず	検出せず

4月24日(水)の検査結果

A献立

測定日	給食日	主な使用食材 [()内は、産地または製造元]	測定結果 (測定下限値:9.1ベクレル)	
			セシウム134	セシウム137
4月24日	4月24日	鶏肉(鹿児島県) 冷液卵(日本) 玉葱(長崎県) にんじん(徳島県) 青ねぎ(亀岡市) 干しいたけ(熊本県・三重県) 片栗粉(北海道) 煮干し(京都府) 焼き豚(鹿児島県・宮崎県他) もやし(岐阜県) 青梗菜(徳島県) すりごま(中南米・アジア・アフリカ) 米(亀岡市) 牛乳(雪印メグミルク)	検出せず	検出せず

B献立

測定日	給食日	主な使用食材 [()内は、産地または製造元]	測定結果 (測定下限値:9.1ベクレル)	
			セシウム134	セシウム137
4月24日	4月24日	豚肉(鹿児島県) にんじん(徳島県) 玉葱(長崎県) じゃがいも(北海道) 冷グリーンピース(アメリカ他) スキムミルク(ニュージーランド) 粉チーズ(ナチュラルチーズ:オーストラリア 脱脂粉乳:日本) トマトケチャップ缶(アメリカ・中国・ポルトガル・チリ等) 粉ガーリック(ガーリック:中国) 福神漬(大根:茨城県 なす:埼玉県 蓮根:茨城県 生姜:九州) さくらゼリー(さくらんぼ果汁:日本 レモン果汁:日本) 米(亀岡市) 牛乳(雪印メグミルク)	検出せず	検出せず

4月17日(水)の検査結果

A献立・B献立 共通

測定日	給食日	使用食材 [()内は、産地または製造元]	測定結果 (測定下限値:9.1ベクレル)	
			セシウム134	セシウム137
4月17日	4月17日	にんじん(徳島県)	検出せず	検出せず

4月10日(水)の検査結果

A献立

測定日	給食日	主な使用食材 [()内は、産地または製造元]	測定結果 (測定下限値:9.1ベクレル)	
			セシウム134	セシウム137
4月10日	4月10日	牛肉(北海道) 玉葱(北海道) 糸こんにゃく(こんにゃく粉:群馬県) にんじん(徳島県) 青ねぎ(亀岡市) 焼きかまぼこ(たら:北海道・アメリカ イトヨリダイ:タイ) キャベツ(滋賀県) えのきたけ(長野県) ちりめんじゃこ(宮崎県・鹿児島県他) すりごま(中南米アジア・アフリカ) 米(亀岡市) 牛乳(雪印メグミルク)	検出せず	検出せず

B献立

測定日	給食日	主な使用食材 [()内は、産地または製造元]	測定結果 (測定下限値:9.1ベクレル)	
			セシウム134	セシウム137
4月10日	4月10日	冷ハンバーグ(豚肉:日本鶏肉:日本 玉葱:日本) 片栗粉(北海道) もやし(岐阜県) キャベツ(滋賀県) 焼きちくわ(たら:日本・アメリカ) にんじん(徳島県) ソフト豆腐(大豆:福井県・北海道) 油揚げ(大豆:滋賀県) 玉葱(北海道) 青ねぎ(亀岡市) みそ(米:主として新潟県・大豆:北海道) 煮干し(京都府沿岸) 米(亀岡市) 牛乳(雪印メグミルク)	検出せず	検出せず

視察先	神奈川県秦野市（平成２５年５月１４日）
調査項目	公共施設白書、公共施設再配置計画策定について ・白書、再配置計画作成の経過について ・作成後の効果について ・体制、経費等について
視察の目的	公共施設白書を作成し、それを基礎資料として公共施設再配置計画を策定し、適正な施設配置と効率的な管理運営に向けた具体的な取り組みを調査する。
施策等の概要	都市化の進展で集中的に整備した公共施設が一斉に更新を迎えるがすべての維持は財政的に不可能となる。そのため、４０年間の長期にわたる全体計画を策定し、その方針計画に基づき取り組みを進めつつ、市民に理解を得ながら総量を減らすためのコストの比較等を行い施設の一元管理を行っている。
考察	本市においても、一元的な施設管理を推進すべきである。委員の意見等で後述する点もあるが、基本的には市長の強い方針としての意思と全庁的な施策として組織を挙げて協力体制を構築されるべきとの意見が多数であった。特に専任職員の配置、担当課の設置等、施設管理に特化した部署の創設も考えられるべきこと、単に検討するのではなく、議会としても強く促すべきである点で一致が見られた。
委員の意見等	施設管理にあたっては、人口減少によって利用数が減りつつあるものを整理するという観点だけではなく、並行して、人口増、工場誘致等幅広い視野を持って進めること。 地域コミュニティの維持を配慮しながら進められたいこと。 市民理解を得ること、管理運営コストの比較等で市民に優先順位を理解してもらえよう整理すること。

視察先	埼玉県富士見市（平成25年5月15日）
調査項目	事業仕分けについて ・導入の経過について ・実施の手法等について ・実施後の効果、問題点について ・議会との関わりについて ・今後の展望について
視察の目的	市民判定人参加型の事業仕分けの導入過程を聞き、本市議会で行っている事務事業評価について改善すべき点等を発見する。特に、市民判定人の参加、専門家で構成される仕分け人の参加について、その効果と問題点、議会との関わり方を調査し、本市議会での導入の可否を検討する。
施策等の概要	市は様々な事業を行っているが、それらの事業が時代に即し、市民に求められている事業かどうかの見直しを図る必要がある。富士見市では平成21年7月に市民判定人方式による事業仕分けを全国に先駆けて実施、平成23年10月には2回目の事業仕分けを実施した。事業仕分けは、各事業について、「本当に必要か」「民間に任せてもよいのではないか」などの視点から、職員以外の外部の方を交えて公開の場で議論・判定されたが、24年度は未実施である。
考察	市民ニーズを把握し、市民を巻き込み、民意をつかむという意味では参考にすべきとする意見が多くあり、総じて、将来の事業仕分け実施への賛同意見が多数であった。 また、市民への情報公開や、市民の市政への参画という側面を考えると、事業仕分け、事務事業評価はしがらみなく本音で判断ができる市民判定人の参加も望ましいとする意見が多数であった。しかし一方で、職員の説明能力によっては仕分け人の誘導によって本来必要とされる事業に予算が配分されなくなることが危惧されたとの意見もあった。 そのため、評価対象事業の選定と、仕分け人の選定には充分慎重を期すべきであるとの意見で一致した。
委員の意見等	予算・決算を審議する権限を有する議員が仕分け人となり、市民判定人に参画をいただく形がいいとする意見。 富士見市と同じく、市民判定人と専門家仕分け人による仕分けを行うのがいいとする意見。 仕分け結果のみならず、その後の予算措置等の方針を公開して

	市民理解を得る努力をされている点も見習うべきとする意見。 スクラップ目的の劇場型とならないようにするべきとする意見。 他市の職員に判断されることへの違和感があるとする意見。 事務事業評価を発展させていけば、本市にあった事業仕分けに 進化するのではないかとする意見。
--	--

視察先	埼玉県草加市（平成25年5月16日）
調査項目	学校給食について ・地産地消の推進について ・食育について ・特色ある取組について ・中学校の自校委託調理方式について
視察の目的	草加市立谷塚中学校で実施されている学校給食における自校給食の委託調理方式を見学する他、食育応援農家を通じた食育と地産地消の推進等の特色ある取組を調査する。
施策等の概要	草加市は、小学校が昭和41年、中学校が昭和45年から完全給食を自校方式で実施している。地域の高年者とのふれあい会食、ランチルームや屋外での食事、バイキング給食など多彩な取り組みも行われている。また、地産地消を積極的に推進し、毎年学校給食展も開催されている。市の教育基本計画では地産地消の推進を盛り込んだ「学校給食の推進」や「食育の推進」が計画の主な取り組みとして掲げられている。
考察	財政面等を考慮すると、伝統ある草加市と同様の給食を実施することは困難であることについては総じて理解できる。しかし、現在の深刻な食生活の実態を考慮し、食生活全体の中での給食を検討すべきであり、特に中学校給食の実施については早急に検討を始めるべきであるとの意見で一致した。 また、中学校給食の実施にあたっては、災害時の対応を考慮すれば自校方式が望ましいとの意見でも一致が見られた。
委員の意見等	自校方式が望ましいとの意見で一致する一方、対応が間に合わない期間については、給食センターの供給能力を考えつつ早急に中学校給食を実施すべきとする意見。 保護者アンケート等から、必要度の高い学校からでも始めるべきとする意見。 中学校給食での食育を通じて、「早寝早起き朝ごはん」の意識が広がり、朝食を採る生徒が増えてきている。中学校給食を進める中で、食育にしっかり取り組むべきだとする意見。 学校給食を支援する農家の制度や校区内での材料調達は見習うところがあるとする意見。 教育振興基本計画には「学校給食のあり方の検討」とは記載されているが、食育をどう位置付けるかが大事だとする意見。

視察先	神奈川県秦野市（平成２５年５月１４日）
調査項目	公共施設白書、公共施設再配置計画策定について ・ 白書、再配置計画作成の経過について ・ 作成後の効果について ・ 体制、経費等について
視察の目的	公共施設白書を作成し、それを基礎資料として公共施設再配置計画を策定し、適正な施設配置と効率的な管理運営に向けた具体的な取り組みを調査する。
施策等の概要	都市化の進展で集中的に整備した公共施設が一斉に更新を迎えるがすべての維持は財政的に不可能となる。そのため、４０年間の長期にわたる全体計画を策定し、その方針計画に基づき取り組みを進めつつ、市民に理解を得ながら総量を減らすためのコストの比較等を行い施設の一元管理を行っている。
考察	本市においても、一元的な施設管理を推進すべきである。委員の意見等で後述する点もあるが、基本的には市長の強い方針としての意思と全庁的な施策として組織を挙げて協力体制を構築されるべきとの意見が多数であった。特に専任職員の配置、担当課の設置等、施設管理に特化した部署の創設も考えられるべきこと、単に検討するのではなく、議会としても強く促すべきである点で一致が見られた。
委員の意見等	施設管理にあたっては、人口減少によって利用数が減りつつあるものを整理するという観点だけではなく、並行して、人口増、工場誘致等幅広い視野を持って進めること。 地域コミュニティの維持を配慮しながら進められたいこと。 市民理解を得ること、管理運営コストの比較等で市民に優先順位を理解してもらえよう整理すること。

視察先	埼玉県富士見市（平成２５年５月１５日）
調査項目	事業仕分けについて ・導入の経過について ・実施の手法等について ・実施後の効果、問題点について ・議会との関わりについて ・今後の展望について
視察の目的	市民判定人参加型の事業仕分けの導入過程を聞き、本市議会で行っている事務事業評価について改善すべき点等を発見する。特に、市民判定人の参加、専門家で構成される仕分け人の参加について、その効果と問題点、議会との関わり方を調査し、本市議会での導入の可否を検討する。
施策等の概要	市は様々な事業を行っているが、それらの事業が時代に即し、市民に求められている事業かどうかの見直しを図る必要がある。富士見市では平成２１年７月に市民判定人方式による事業仕分けを全国に先駆けて実施、平成２３年１０月には２回目の事業仕分けを実施した。事業仕分けは、各事業について、「本当に必要か」「民間に任せてもよいのではないか」などの視点から、職員以外の外部の方を交えて公開の場で議論・判定されたが、２４年度は未実施である。
考察	市民ニーズを把握し、市民を巻き込み、民意をつかむという意味では参考にすべきとする意見が多くあり、総じて、将来の事業仕分け実施への賛同意見が多数であった。 また、市民への情報公開や、市民の市政への参画という側面を考えると、事業仕分け、事務事業評価はしがらみなく本音で判断ができる市民判定人の参加も望ましいとする意見が多数であった。しかし一方で、職員の説明能力によっては仕分け人の誘導によって本来必要とされる事業に予算が配分されなくなることが危惧されるとの意見もあった。 そのため、評価対象事業の選定と、仕分け人の選定には充分慎重を期すべきであるとの意見で一致した。
委員の意見等	予算・決算を審議する権限を有する議員が仕分け人となり、市民判定人に参画をいただく形がいいとする意見。 富士見市と同じく、市民判定人と専門家仕分け人による仕分けを行うのがいいとする意見。 仕分け結果のみならず、その後の予算措置等の方針を公開して

	市民理解を得る努力をされている点も見習うべきとする意見。 スクラップ目的の劇場型とならないようにするべきとする意見。 他市の職員に判断されることへの違和感があるとする意見。 事務事業評価を発展させていけば、本市にあった事業仕分けに 進化するのではないかとする意見。
--	--

視察先	埼玉県草加市（平成２５年５月１６日）
調査項目	学校給食について ・地産地消の推進について ・食育について ・特色ある取組について ・中学校の自校委託調理方式について
視察の目的	草加市立谷塚中学校で実施されている学校給食における自校給食の委託調理方式を見学する他、食育応援農家を通じた食育と地産地消の推進等の特色ある取組を調査する。
施策等の概要	草加市は、小学校が昭和４１年、中学校が昭和４５年から完全給食を自校方式で実施している。地域の高年者とのふれあい会食、ランチルームや屋外での食事、バイキング給食など多彩な取り組みも行われている。また、地産地消を積極的に推進し、毎年学校給食展も開催されている。市の教育基本計画では地産地消の推進を盛り込んだ「学校給食の推進」や「食育の推進」が計画の主な取り組みとして掲げられている。
考察	財政面等を考慮すると、伝統ある草加市と同様の給食を実施することは困難であることについては総じて理解できる。しかし、現在の深刻な食生活の実態を考慮し、食生活全体の中での給食を検討すべきであり、特に中学校給食の実施については早急に検討を始めるべきであるとの意見で一致した。 また、中学校給食の実施にあたっては、災害時の対応を考慮すれば自校方式が望ましいとの意見でも一致が見られた。
委員の意見等	自校方式が望ましいとの意見で一致する一方、対応が間に合わない期間については、給食センターの供給能力を考えつつ早急に中学校給食を実施すべきとする意見。 保護者アンケート等から、必要度の高い学校からでも始めるべきとする意見。 中学校給食での食育を通じて、「早寝早起き朝ごはん」の意識が広がり、朝食を採る生徒が増えてきている。中学校給食を進める中で、食育にしっかり取り組むべきだとする意見。 学校給食を支援する農家の制度や校区内での材料調達は見習うところがあるとする意見。 教育振興基本計画には「学校給食のあり方の検討」とは記載されているが、食育をどう位置付けるかが大事だとする意見。